

民児協 あこっ



広げよう 地域に根ざした 思いやり

第 50 号 平成 29 年 春号

なごやかなに花見の会



4月5日 有年地区ふれあい交歓会 (マジックショー)

民生委員児童委員信条

- 一、わたくしたちは、隣人愛をもって、社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたくしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたくしたちは、誠意をもって、あらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。

- 一、わたくしたちは、すべての人々と協力し、明朗で健全な地域社会づくりに努めます。

- 一、わたくしたちは、常に公正を旨とし、人格と識見の向上に努めます。

児童憲章

児童は、人として尊ばれる。

児童は、社会の一員として重んぜられる。

児童は、よい環境の中で育てられる。



就任のご挨拶



赤穂市民生委員会
児童委員協議会
会長 水野 亮

昨年12月の一斉改選を受けて開催されました協議会において、再び会長に就任いたしました水野でございます。微力ではありますが、これから3年間、引き続き、皆様のお力をお借りしながら、地域福祉の推進に尽力してまいりたいと存じますので、どうぞよろしくお願いたします。

少子高齢化や核家族化の進展、人々の価値観の多様化など、社会情勢が大きく変化しています。

こうした状況の中で高齢者の孤独死、災害時における要援護者支援、子どもに対する虐待やいじめなどの問題への対応など、地域が抱える問題は複雑、多様化しており、民生委員・児童委員への期待はこれからますます大きくなる

副会長



浦池 伸朔

副会長



久須 律子

と思われまふ。

私たち民生委員・児童委員は、地域の身近な相談者として、また、行政とのパイプ役として活動しています。

地域の目として各団体と連携して日ごろのつながりを強めていくとともに、見守り活動などを通じて、地域の絆づくりをしていくことが重要です。

今回の一斉改選で、新しく民生委員・児童委員になられた方々を、歓迎いたしますとともに、皆様が一刻も早く、地域の方々に頼られ、また支えられる民生委員・児童委員となられますよう、赤穂市民生委員児童委員協議会として努めてまいりたいと考えています。

また、再任された委員の皆様におかれましても引き続き住民の立場に立った活動を期待しております。

今後とも当協議会の活動に皆様のご協力をお願い申し上げます。就任の挨拶いたします。

- 地区委員長 西濱 守
- 藤田美和子 上住 晃
 - 小島 愛子 松本 賢仁
 - 大田 登 山本 信行
 - 山本 陽三 伊東 康子
 - 濱本 昌宣 橋本久美子
 - 浮田 京子 中田 晴基
 - 宮地 有子 山口 五月
 - 大道 訓敏

- 地区委員長 濱田 雅司
- 石橋 洋子 團 増治
 - 山下真理子 名田美佐枝
 - 中谷多加子 馬場 幸子
 - 目木かず代 古田 優二
 - 中森 逸彌 久野 朝代
 - 高木 啓子 馬場 三郎
 - 三宅 伸治 和田 秀基
 - 川西 絹子

西部地区 (7名)

思いやりのある

こころ豊かなまち西部

- 地区委員長 河上 俊之
- 長安 利之 椎畑 廣美
 - 松本なお子 沖田 裕志
 - 稲田 啓子 山崎 賢一



御崎地区 (9名)

みんな

ささえあい

きょうりよくしよう!!



- 地区委員長 久野 俊章
- 米田 絹子 米谷 徹志
 - 藤田 佳子 水野 亮
 - 宮本 章子 山口みな子
 - 野山貴久子 戸田 一子

尾崎地区 (16名)

自助・共助・信頼



あなたの地区の 民生委員児童委員です！

赤穂地区 (17名)

そつと見守り、
えがおで声かけ

- 地区委員長 柳内 和代
- 久須 律子 山崎 正則
 - 虎津 禎一 清原 洋子
 - 西野 照世 向濱 洋子
 - 米野 征也 牧野 文子
 - 船曳 令子 山崎 悦男
 - 尾上 幸美 西畑 真美
 - 三木 保子 塩江 千津
 - 藤木 智代 宮崎有美子



城西地区 (14名)

お元気ですか。
ありがとうございます。
みんなで支える城西のまち

- 地区委員長 柏 日出男
- 山野 敏則 鳴神 義量
 - 池田 正男 北川 明美
 - 橋本 清美 水守 正己

高雄地区 (6名)

たすけあい
かかわりあい
おもいあう

高雄の輪

- 地区委員長 古森 雄三
- 前田 護 安井 絹代
 - 浦池 伸朔 高田 寿也
 - 林 雅美



坂越地区 (11名)

有り難う 私達の町
あなたも私も心のためす
気軽に話そう悩み事

- 地区委員長 青木 洲平
- 佐方 武彦 澤田 正代
 - 菟場 洋子 穂本千津子
 - 前川 道子 三橋あけみ
 - 三木 良子 東 勝江
 - 豊家 正昭 小出 貴也



主任児童委員 (5名)

育てよう子どもの心
守ろうみんなの笑顔

- 松村 裕子 松本十代子
- 睦谷美恵子 山根寿美子
- 沼田 貴代

有年地区 (9名)

チームワークで
GO!

- 地区委員長 寺内 一成
- 高本より子 原田 敏昭
 - 小河 大祐 桐谷 光義
 - 起塚 史章 宜川 京子
 - 松井 時夫 小林 幸子



ご自身の担当民生委員児童委員については市社会福祉課へおたずねください。
TEL 4316809



部会の抱負

障がい者福祉部会

今日、少子高齢社会と言われる中で、住民同士の支えあいが一段と重要性を増しています。障がい者に繰り返しされる偏見・差別・虐待は、解決しなければならぬ社会問題です。専門講師による講習・体験実習、各種団体、施設との交流などで、障がい者支援制度についての理解を深め、障がい者の相談に少しでも対応できるように研修を重ねていきます。

児童福祉部会

子ども・子育て支援事業計画の基本理念「こども・家庭・地域を育む子育て応援都市・あこが」をめざすために民生委員・児童委員及び主任児童委員の活動において子育て世代が抱える不安が軽減されるよう努めたいと思います。社会生活を円滑に営む上で援助を必要とするケースを早期発見・早期対応できるよう地域のいろいろな人とのつながり、関係機関との連携をよりスムーズにおこなうために委員同士が定例会・部会・研修会で情報を共有し、地域社会全体が連携した取り組みを支援していきます。

老人福祉部会

かつて有名な歌手の歌に『右を向いても左を見ても世の中高齢者？ばかりじゃありませんか』ではないけれど、赤穂市も昨年12月末で65歳以上の高齢化率は30%余りとなり、年々増加傾向で推移しています。その為、高齢者の抱える諸問題も複雑化しています。私たち老人福祉部会では、部員の問題解決力の向上を図るべく、基礎学習で知識を得し、さらに実務面の実習や施設見学など研修を展開します。その成果を少しでも各地域の見守り活動に反映し、努力していきたいと思えます。

広報部会

民児協は市民の皆様へ地域福祉活動を展開するために広報部会を設けて、民生委員・児童委員、主任児童委員の活動を広く理解して頂くために事業を行います。

1、「民児協あこが」は、春と秋の年2回発行し、市民や市内の福祉施設等に配布します。

2、「民児協だより」は、月1回発行し、地域福祉活動や研修会の内容を委員相互で情報共有するため、民生委員・児童委員、地域福祉推進委員に配布します。



ママのおひざ

ママを独り占めしていた女の子に、妹ができました。

おっぱいをあげる時も、おむつを替える時も、ママは赤ちゃんの方ばかり見えています。我慢しかねたお姉ちゃんは「代わりばんこ」といいました。

パパが赤ちゃんを抱っこするとすかさずママのおひざへ行き、なかなか代わりとうしませんでした。

ママの膝ってあったかくてやわらかで、ステキですね。

児童館で絵本の読み聞かせをしている時、うろうろ動き回っている子がいたので、「おひざすわりする？」と、声をかけてみました。膝の上に座らせると、最後まで静かにじっとお話を聞くことができました。

ママのおひざは子どもの心を落ち着かせるのに最適な道具。安心感を与えてくれます。

ママのおひざから巣立ってしまう前に、しっかりぬくもりを伝えましょう。

編集後記

昨年12月の一斉改選により、多くの人の交代があり、新体制でスタートしました。

今回の春号は会長の抱負、地区別の民生委員・児童委員、主任児童委員の紹介をしています。地域福祉の向上のために取り組むことが民生委員・児童委員、主任児童委員の役割であり、仕事の内容や地域福祉活動等を「民児協あこが」でお知らせしていきます。